

オオシマドジョウの自然繁殖に日本の動物園水族館で初めて成功しました

資料提供日	令和8年2月20日
担当課	水族館
担当者	竹田
電話番号	079-297-0321

1 はじめに

姫路市立水族館では、このたび日本固有種であるオオシマドジョウの自然繁殖に日本の動物園水族館で初めて成功しました。

2 オオシマドジョウについて

オオシマドジョウは、体長が90～130mmになるドジョウの仲間で、本州、四国、九州の瀬戸内海に流入する河川に分布しています。兵庫県では比較的安定して見ることができますが、大阪府や香川県および高知県では、絶滅の恐れがある種としてレッドリストに掲載されています。

3 自然繁殖の概要

2019年5月に兵庫県西部の河川で採集した個体のうち、産卵の兆候のみられる個体（オス1尾、メス2尾）を2024年1月に繁殖用水槽に移し、水温を調整するなどして繁殖を試みたところ、2024年3月12日に産卵を確認しました。ドジョウの仲間の場合、体内にホルモン剤を注射して成熟や排卵を促す「人工繁殖」という手法を採用することが多いのですが、今回は産卵のきっかけや行動などの情報を得るため、自然に産卵する「自然繁殖」を目指しました。40個前後の受精卵を得てふ化稚魚を育成し、最終的に15尾の繁殖個体を得ることができました。

4 日本動物園水族館協会より「初繁殖」認定

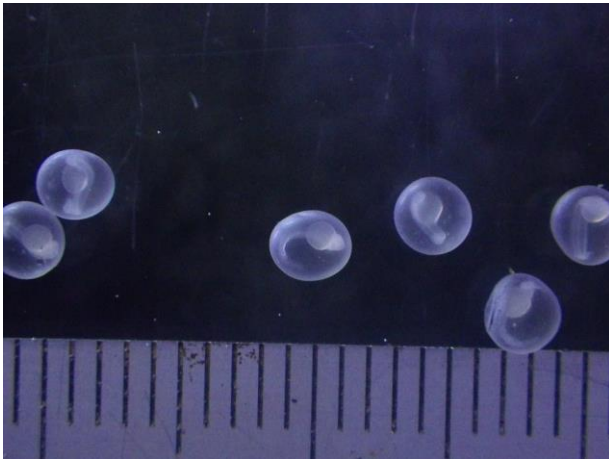
今回のオオシマドジョウの自然繁殖は、公益社団法人日本動物園水族館協会に加盟している全国の動物園水族館で初めての事例です。同協会では、このような初めての繁殖事例に対して、さまざまな選考基準を満たした場合に『初繁殖』として認定しています。今回のオオシマドジョウの自然繁殖も『初繁殖』として認定されました。

5 親個体および繁殖個体の展示

新館2階の希少淡水魚コーナーにおいて、親個体および繁殖個体を展示しています。当面の間、展示を続ける予定です。



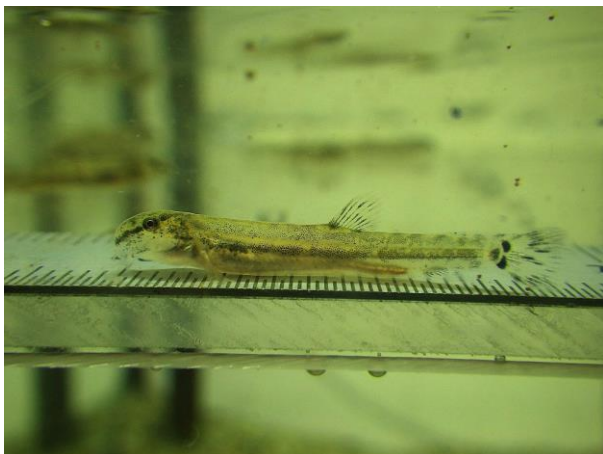
オオシマドジョウ



産卵直後の卵



ふ化後 3 日目の稚魚



ふ化後 24 日目の稚魚

初繁殖認定証

姫路市立水族館 殿

初繁殖動物名：オオシマドジョウ

学名： *Cobitis sp. BIWAE type A*

初繁殖年月日：2024年3月12日

記載の動物は、当協会における初繁殖であることを
認定し、証明いたします。

2025年12月9日

公益社団法人日本動物園水族館協会

会長 村田 浩



公益社団法人
日本動物園水族館協会
JAPANESE ASSOCIATION OF ZOOS AND AQUARIUMS

日本動物園水族館協会による「初繁殖」認定証